

「キャンドルのつどい研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

燃える炎を見つめながらしみじみと語り合い、歌い、踊り、ゲームを楽しみながら、華やかで感動に満ちたときを過ごす。

2 ねらい

- ・皆で炎を囲み、楽しみ、親睦を深める。
- ・協調性を高める。
- ・今日を反省し、明日への活力をつくる。

3 対象者

小学校第5学年以上とする。

ただし、保護者又は引率者と組んで活動する場合は小学校第4学年以下も可能。

4 人数及び場所 ※場合によって個人用燭台の数の変動有

場所	最大人数（人）	個人用燭台数（個）
体育館	200	200（予備 10）
講堂	150	150（予備 10）
武道館	100	100（予備 10）

※10人以上で実施可。

※いずれの場所も飲食は禁止。水分補給は可。

5 実施時期、時間

(1) 実施時期 通年

(2) 時間 18時00分～21時00分

※準備作業を開始までにしておく。

※後片付けは21時30分までに行う。

6 準備物

(1) 個人：動きやすい服装 体育館シューズ（講堂の場合は不要） 飲み物（必要な場合）

スタンプに使用するもの（必要な場合）

(2) 団体：マッチ（ライターなど） 携帯電話

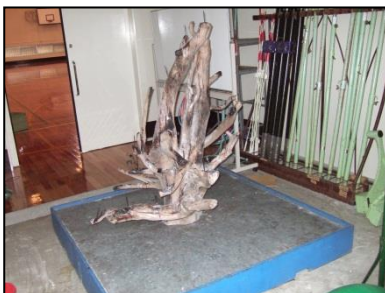
小ろうそく（ボランティア棟1階売店 イシダスポーツでも販売 1箱約80本 250円）

懐中電灯（移動用） ※武道館で実施の場合

(3) 交流の家：コードリール アンプ ワイヤレスマイク バケツ ろう削り

大ろうそく

各実施場所・・・大燭台 火の神用燭台 シート 放送設備（武道館は無し）



大燭台



1



火の神用燭台



ロウ削り



個人用燭台 ※小さいロウソクを使用

7 指導・安全管理

- (1) 指導者の配置・人数・役割分担
「キャンドルのつどい研修」実施要領をもとに、団体がキャンドルのつどいの指導・安全管理等を行う。
- (2) 引率者の配置・人数・役割分担
活動団体で次の役割を担う。(小規模の団体は担当を兼ねることができる)
 - ① 総括責任者 (全体の総括, 緊急時の連絡担当)・・・1人
 - ② 指導担当者 (指導, 用具の準備, 安全管理)・・・1人以上
 - ③ 監視担当者 (火の管理, 安全管理)・・・1人以上
 - ④ 救護担当者 (健康観察・応急処置・AED設置場所の確認)・・・1人以上
- (3) 事故発生時の措置
緊急の場合は, 総括責任者は携帯電話で交流の家に連絡を行う。

8 展開

- (1) 「物品利用希望書」の提出
団体は, 「物品利用希望書」に必要事項を記入し, 入所時に交流の家へ提出する。
- (2) 実施前
 - ① 指導担当者は, 17時00分までに事務室から必要に応じてコードリール, アンプ, ワイヤレスマイク, バケツ, 火ばさみ等を受け取る。
 - ② 実施場所のコンセント等の確認をする。
 - ③ 実施場所にシートを敷き, 大燭台の設置を行う。(4ページ参照, 大燭台は重いので注意。)
 - ④ 大燭台に大ロウソクを立てる。※短いロウソクは事務室で長いロウソクに交換する。
 - ⑤ 火の神用燭台に大ロウソクを立てる。(1ページ参照)
※ミニサイズのロウソクを使用する場合, 個人用燭台の利用は可能だが, 団体がロウソクを持参する場合, アルミホイル等で作成・使用することもできる。
- (3) 事前指導
集合場所: 体育館, 講堂で実施の場合・・・各実施場所
武道館で実施の場合・・・つどいの広場(ピロティ)
(指導担当者)
 - ① グループ毎に整列させる。
 - ② 救護担当者に健康観察をさせる。
- (4) 指導担当者は目的, 注意事項を説明する。
(注意事項)
 - ① けが, 体調が悪くなったら, 引率者に連絡する。
 - ② シートや床にロウをたらさない。
※床がじゅうたんの会場は特に注意する。
 - ③ 武道館への移動は, 暗いので足元に気をつける。(溝に注意)

(5) キャンドルのつどい

(例)

第1部

- ① 入場
- ② 歌「遠き山に日は落ちて」
- ③ 火の神入場→火の神の言葉→点火
- ④ 歌「四季の歌」
- ⑤ 営火長のことば（火にまつわる話）

第2部

歌，スタンツ，ゲームなどで盛り上がる

第3部

- ① 歌「一日の終わり」
- ② 沈黙（黙って火を見つめる）
- ③ 誓いの言葉（各班代表，各クラス代表など）
- ④ 営火長終わりの言葉
- ⑤ 歌「今日の日はさようなら」
- ⑥ 退場

※監視担当者は大燭台のロウソクの火が消えたらつける。

(6) 事後指導

(指導担当者)

- ① 救護担当者に健康観察をさせる。
- ② まとめをし，解散する。
- ③ キャンドルのつどいの研修終了を交流の家へ報告するとともに，借用物品の返却をする。
※物品の破損等が見られる場合は，その顛末を速やかに交流の家に届け出る。

(7) 片付け

監視担当者は次の方法で片づけを行う。

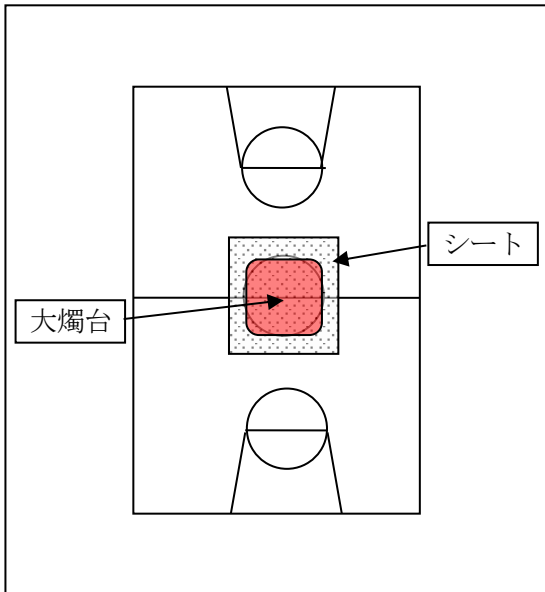
- ① ロウソクを消火した後は，水をためたバケツの中に入れ，完全に消火する。
(完全に消火したら水を切り，小ロウソクは持ち帰る。大ロウソクは所定の場所へ片付ける。)
- ② 床及びシートに落ちたロウをロウ削りですとる。
- ③ シート，大燭台，火の神用燭台，ロウ削り，大ロウソクを所定の場所へ片付ける。
※他の会場から個人用燭台を移動させた場合，元の会場に返却しておく。
- ④ 会場をきれいにそうじする。

9 連絡先

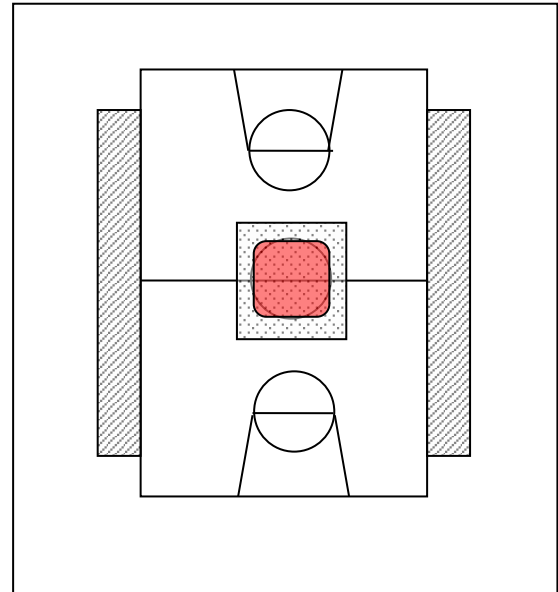
江田島青少年交流の家 (0823) 42-0660
(0823) 42-0661
(0823) 42-0663 (夜間)

シートの敷き方

体育館の場合

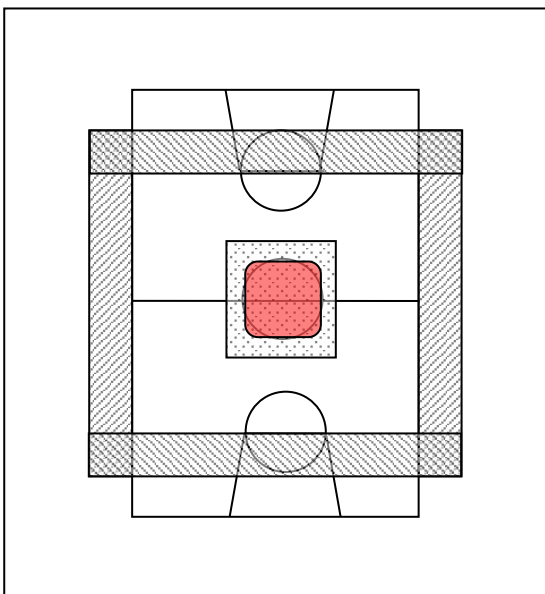


- ① バasketコートセンターサークル上に中央用シートを敷き、その上に大燭台を置く。

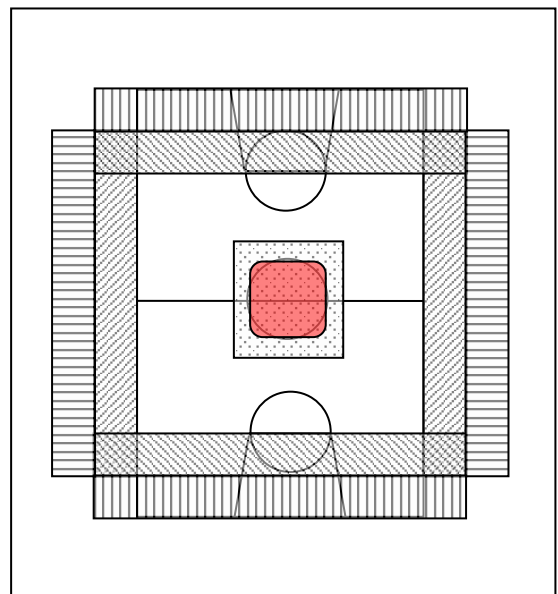


- ② バasketコートのサイドラインにシートの内側を合わせて敷く。

これは基本の形ですので、人数に応じて敷き方を変えることも可能です。
火の神が歩く経路や研修生が立つ場所には必ずシートを敷いてください。



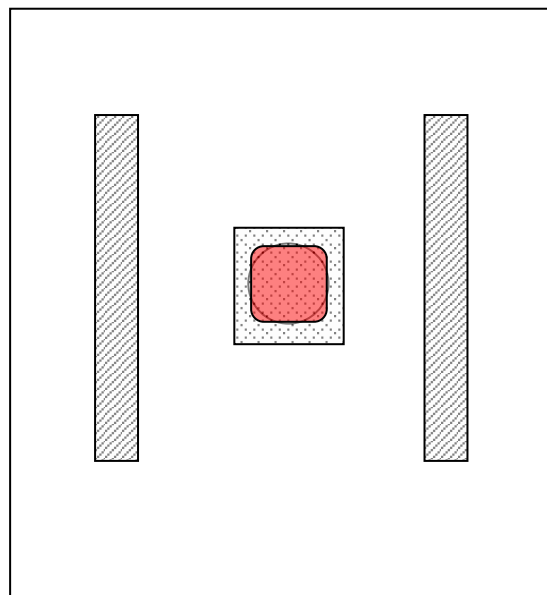
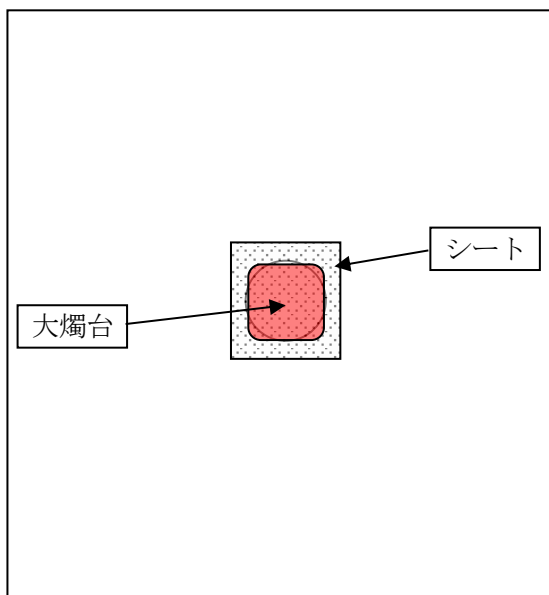
- ③ シートの角を合わせ、②と直角にシートを敷く。



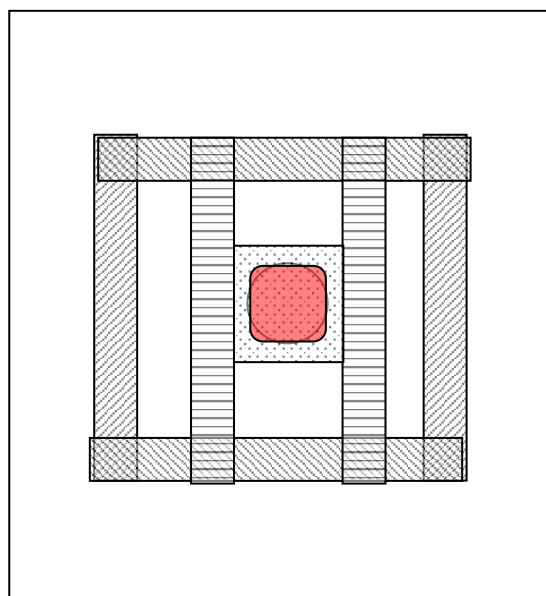
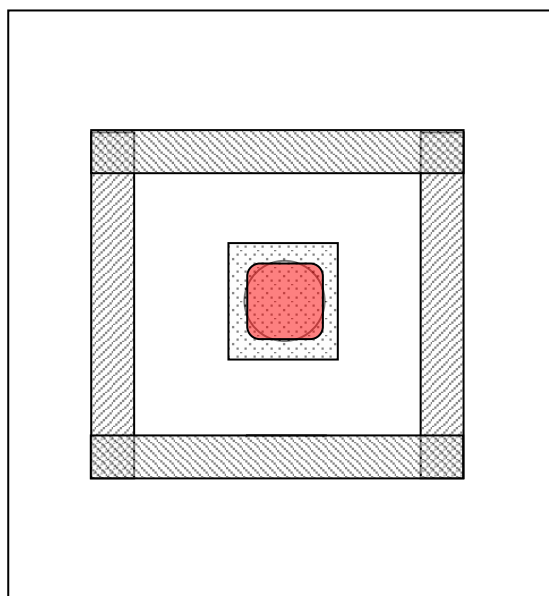
- ④ ②③の外側にシートを敷く

シートの敷き方

講堂・武道館の場合



※講堂、武道館には目安となるラインがないため、目分量で敷く（内側のシートの端が重なるように）

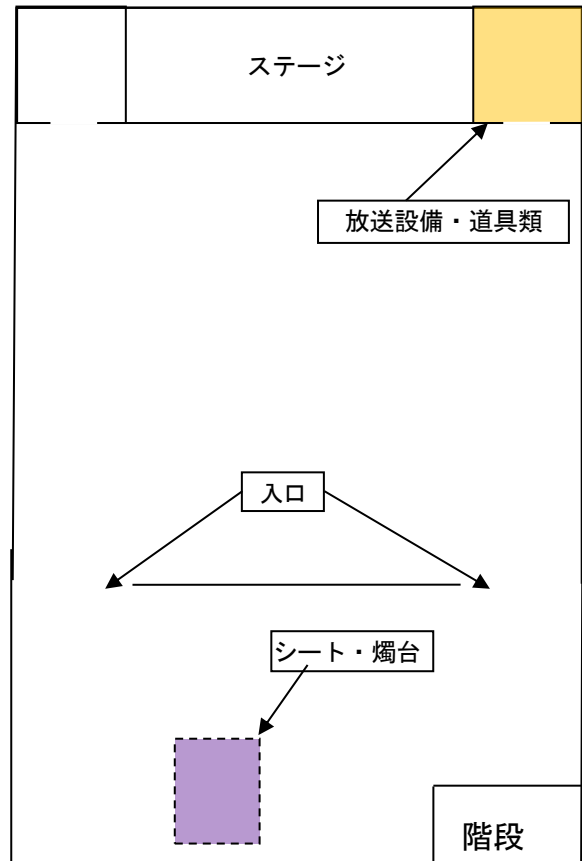
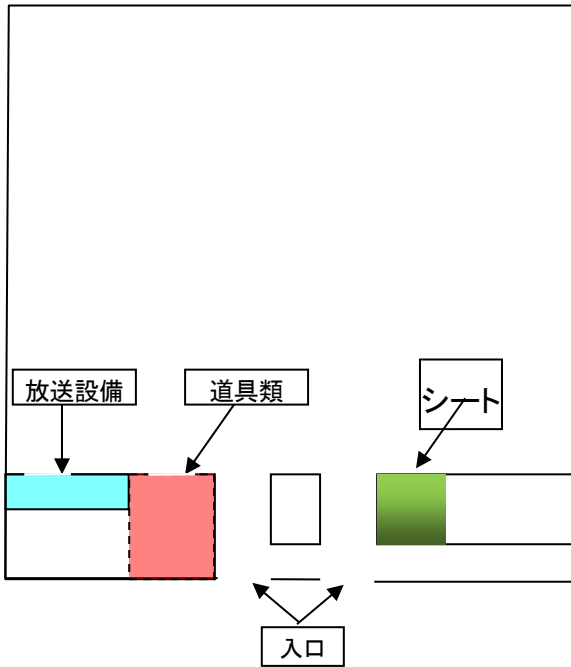


道具・放送設備の場所

体育館

講堂

道具類・シート



出入口

武道館

